

文化経済学会<日本> 2015年度 研究大会

- 日 程 2015年7月3日(金)・4日(土)・5日(日) ※3日はエクスカージョン
- 会 場 駒澤大学 駒沢キャンパス
- 大会テーマ 「文化の社会的な意義と役割 ―東京五輪 2020 への展望―」
- 主 催 文化経済学会<日本>
- 共 催 駒澤大学

《プログラム》

2015年7月3日(金)

- 13:00～17:00 エクスカージョン1 渋谷コース Shibuya Creative Space
15:00～19:30 エクスカージョン2 三軒茶屋コース 三軒茶屋周辺クリエイティブ・ツアー

2015年7月4日(土) 受付開始：9:00～ 受付開始(1号館2階フロア)

10:00～11:45 **分科会① 《1号館(A: 1202教室、B: 1203教室、C: 1403教室、D: 1404教室)》**

- ※①-Dのみ
11:10 終了
- ①-A アートプロジェクト
 - ①-B クリエイティブ産業
 - ①-C 観光
 - ①-D 教育・アウトリーチ

11:45～13:00 ランチタイム / 理事会 《11:50～12:50 本部棟5-1会議室》

13:00～15:00 **特別セッション1 《1202教室》**

「文化政策研究の最前線：経済学の視点から」

司 会：後藤和子（摂南大学）

発表者：田中鮎夢（摂南大学）

阪本崇（京都橋大学）

後藤和子

コメンテーター：山田太門（慶應義塾大学）

特別セッション2 《1203教室》

「社会学分野における文化研究の動向：社会学とカルチュラルスタディーズの視点から」

司 会：友岡邦之（高崎経済大学）

増淵敏之（法政大学）

発表者：油井清光（神戸大学大学院）

吉見俊哉（東京大学）

コメンテーター：片岡えみ（駒澤大学）

※ 特別セッション1、2は並行して行われます。

15:00～15:15 休憩

15:15～17:30 **シンポジウム 《1301教室》**

「五輪文化プログラムの社会的な意義と役割―ロンドン2012の実績と東京2020への展望」

基調講演

「2012年ロンドン五輪・文化プログラムの社会的インパクトとレガシー（仮題）」

Ms. Deborah Bull, CBE (Director, Culture at King's College London)

パネルディスカッション

「2020年東京五輪文化プログラムへの期待と展望」

パネリスト：真田久（筑波大学）

日比野克彦（アーティスト）

毛利嘉孝（東京芸術大学）

Deborah Bull, CBE

モデレーター：吉本光宏（ニッセイ基礎研究所）

17:30～18:00 会場移動

18:00～20:00 懇親会 会場：駒澤大学深沢キャンパス大ホール

2015年7月5日(日) 受付開始：9:00～ 8号館1階フロア

10:00～11:45 **分科会 ② 《8号館(A: 8151教室、B: 8152教室、C: 8256教室、D:8257教室)》**

- ②-A 文化需要の実証分析
- ②-B 建築・デザイン
- ②-C 文化支援
- ②-D 人材育成と地域活性化

11:50～12:30 **総会 《8150 教室》**

12:30～13:30 ランチタイム

13:30～15:15 分科会 ③ 《8号館(A: 8151 教室、B: 8152 教室、C: 8256 教室、D:8257 教室)》

③-A 文化経済学における新たなアプローチ

③-B まちづくり(1)

③-C 伝統文化・芸能

③-D パフォーミングアーツ

15:30～17:50 分科会 ④《8号館(A: 8151 教室、B: 8152 教室、C: 8256 教室、D:8257 教室)》

④-A アジアの文化政策

※④-C、④-Dは
17:15 まで

④-B まちづくり(2)

④-C 文化政策

④-D 理論・思想

《分科会プログラム》

■ 7/4 (土) 分科会 ① 10:00～11:45 ※ただし、①-Dは11:10まで

①-A アートプロジェクト

座長：野田 邦弘

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
1202 教室	國盛 麻衣佳	旧産炭地には独自の芸術文化活動が根付いたのか？ ～旧産炭地の労務管理体制や人材流動化がもたらした創造人材による芸術文化環境形成に関する研究～	増淵 敏之
	藤原 旅人	アートプロジェクト構想におけるアートボランティア・リクルーティングの実態に関する考察	増淵 敏之
	山本 暁美	地域振興におけるアートの役割と影響 —「第1回、第2回瀬戸内国際芸術祭」住民小中学生意識調査から—	藤原 恵洋

①-B クリエイティブ産業

座長：井口 典夫

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
1203 教室	朝田 康禎	2000年代におけるクリエイティブ産業の地域分布	井口 典夫
	境 新一	アート・プロデュース論の枠組みに関する考察—実践事例を通して—	河島 伸子
	前田 耕作	マキノを核とした社会的ネットワークを通じて創発された映画都市京都：1945年以前の日本映画産業における競争的構造	河島 伸子

①-C 観光

座長：牧 和生

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
1403 教室	金武 創	文化遺産と県観光政策	澤村 明
	山本 史門	観光における地域統計の課題と今後の方向性	澤村 明
	須川 まり	観光映画の視点から読む中村登作品	金武 創

①-D 教育・アウトリーチ

座長：新藤 浩伸

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
1404 教室	木下 綾	グローバル時代における美術館のレリバンス：言語教育プログラムからの考察	後藤 和子
	岩井 千華	公共図書館におけるアウトリーチとしての学習プログラムの検討	柳 与志夫

■ 7/5 (日) 分科会 ② 10:00~11:45

②-A 文化需要の実証分析

座長：阪本 崇

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
8151 教室	有馬 昌宏	家庭環境が大学生の実演芸術鑑賞に及ぼす影響に関する分析	阪本 崇
	仲村 敏隆	コーホートからみたゲームの需要を規定する要因の分析	勝浦 正樹
	涌田 龍治	日本のオーケストラ楽団の鑑賞頻度に関する研究：ディリクレモデルの適用	有馬 昌宏

②-B 建築・デザイン

座長：川本 直義

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
8152 教室	藤原 恵洋	日本の戦前戦後を『汎美計画』で結んだ小池新二における産業デザイン振興と生活デザイン啓蒙—文化経済学的観点からの再評価—	本杉 省三
	本杉 省三	公共建築物の設計者選定方法に関する研究—県・市を対象とした実態調査—	草加 叔也
	峰尾 恵人	大規模な伝統木造建造物の材料となる長大高品質木材の経済的特性	草加 叔也

②-C 文化支援

座長：宮崎 刀史紀

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
8256 教室	川井田 祥子	障害者の芸術表現の支援政策に関する一考察—最近の日本国内の動向から—	野田 邦弘
	今田 彰	「病院祭の実績と評価」—地域包括ケアシステム構築を見据えて—	野田 邦弘
	新藤 浩伸	市民文化活動支援のネットワークの歴史と実践：Mailout および Culture Action Europe を対象に	川井田 祥子

②-D 人材育成と地域活性化

座長：佐々木 亨

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
8257 教室	前田 厚子	大学ミュージアムによる多様な創造環境の形成—歴史都市の持続的発展における芸術系大学の社会的役割—	熊倉 純子
	松下 愛	地域連携と地方創生	小林 真理
	吉峰 拓	創造的人材の移動と集積に関する考察	小林 真理

■ 11:50~12:30 総会 (8150 教室)

■ 7/5 (日) 分科会 ③ 13:30~15:15

③-A 文化経済学における新たなアプローチ

座長：有馬 昌宏

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
8151 教室	姜 有美／ バク ジョンヒョン	CONSOLIDATE RELATIONSHIP WITH VISITORS THROUGH LARGE-SCALE DATA: VISITOR'S HETEROGENEOUS POST-VISIT BEHAVIORAL INTENTION MODEL (英語発表)	八木 匡
	牧 和生	こだわり、共感およびホスピタリティと文化に関する認知科学的試論	八木 匡
	佐野 直哉	劇場・音楽堂等の潜在観客向け便益の明確化とプライオリティ化	西郷 浩

③-B まちづくり(1)

座長：曾田 修司

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
8152 教室	石垣 尚志	非劇場型映画上映とまちづくり —神奈川県藤沢市と宮城県石巻市の事例を中心に—	藤原 恵洋
	梶田 美香	まちづくりとのつながりの側面からみた今日的“アーティスト像” —長久手市文化の家「おんぱく 2014～音のテーマパーク」の事例から—	石垣 尚志
	島田 善規	市民討議のデザインにおける問題定義の効果—長久手市「文化の家」の事例から—	梶田 美香

③-C 伝統文化・芸能

座長：後藤 和子

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
8256 教室	中坪 功雄	1964 年東京五輪と 1970 年日本万国博覧会から学び、2020 年東京五輪・パラリンピック文化プログラムに絆、交流する文化プログラムに期待する	山田 太門
	森崎 美穂子	文化資本としての食材の維持発展と地理的表示法の意義について ～和菓子の材料を事例に～	徳永 高志
	中原 逸郎	花街芸能の伝承—京都祇園甲部と京都北野上七軒の教育現場を中心に—	中坪 功雄

③-D パフォーミングアーツ

座長：熊倉 純子

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
8257 教室	大城 純男	オペラ・演奏会の上演回数と都市の階層性	勝浦 正樹
	佐藤 良子	オーケストラの「地方公演」の類型とその位置付けに関する考察	藤野 一夫
	鈴木 星良	来場者の演劇鑑賞を通じた劇場に対する価値評価—「鳥の劇場」来場者に対する仮想評価法を用いたアンケート調査を踏まえて—	藤野 一夫

■ 7/5 (日) 分科会 ④ 15:30～17:50 ※ただし、④-C、④-Dは 17:15 まで

④-A アジアの文化政策

座長：佐々木 雅幸

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
8151 教室	張 慶彬	韓国における創造都市事業を基盤づけたパブリックアート政策の評価と課題	萩原 雅也
	馬 麗娜	文化創意産業を発展させる社会的基盤 —香港文化創意園区の事例から—	萩原 雅也
	南田 明美	現代シンガポールのコミュニティ（・アート）政策 〈コスモポリタン〉〈ハートランダー〉問題とネイション形成	川崎 賢一
	槌屋 洋亮	ベトナムにおける都市の創造性と持続的発展：中部フエ市の事例から	佐々木 雅幸

④-B まちづくり(2)

座長：川井田 祥子

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
8152 教室	野田 邦弘	アーティストと地域住民は同じ夢を見るか —アーティスト・イン・レジデンスと地域の関係	友岡 邦之
	加藤 康子	趣味縁やアート拠点の参入が都心の多様性を再生させる可能性について ～札幌市と群馬県前橋市の事例から～	友岡 邦之
	阿 思根	ゴーストタウンの未来を	太下 義之
	高倉 貴子／ 藤原 恵洋	地域固有資源の発掘と活用に基づく創造的地域再生デザインワークショップの評価と課題—九州大学藤原恵洋研究室による九州大学社会連携事業「天草下浦フィールドワーク」の実践を通して—	太下 義之

④-C 文化政策

座長：米屋 尚子

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
8256 教室	林 幸寛	地域における文化・芸術の政策とその運営に関する研究	片山 泰輔
	佐藤 忠文	開かれた地域の文化資源としての“オープン・カルチュラル・リソースズ”	片山 泰輔
	松本 茂章	パリ日本館の現状と課題 —わが国における対外文化政策のジレンマ—	衛 紀生

④-D 理論・思想

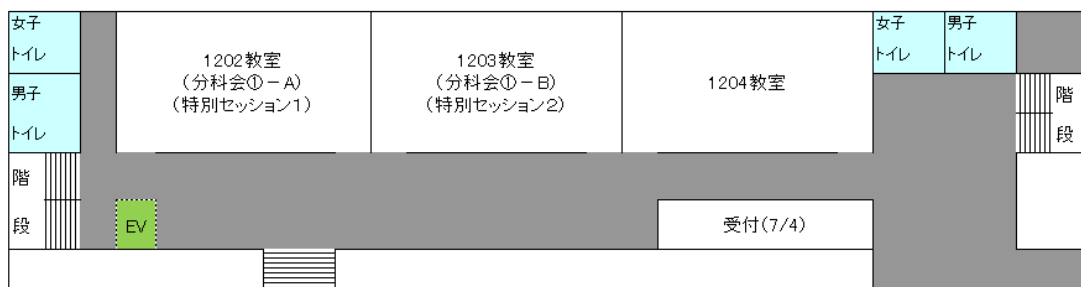
座長：伊藤 裕夫

会場	発表者／共同発表者	タイトル	討論者
8257 教室	勝村 務	マルクス経済学と文化・文化経済学	中谷 武雄
	橘高 彫斗	ラスキンの建築論と自然観—パースの現象学を手がかりとして—	勝村 務
	池上 惇	文化資本経営の本質	伊藤 裕夫

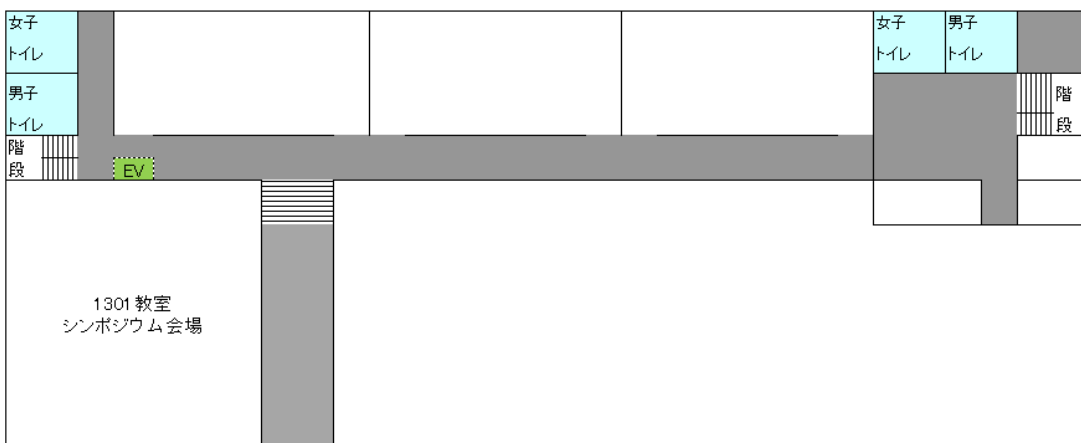
■ 分科会会場案内図

1日目 1号館

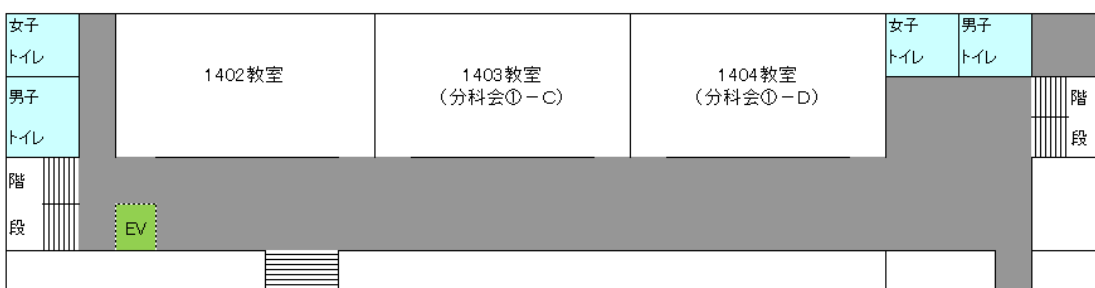
2F



3F

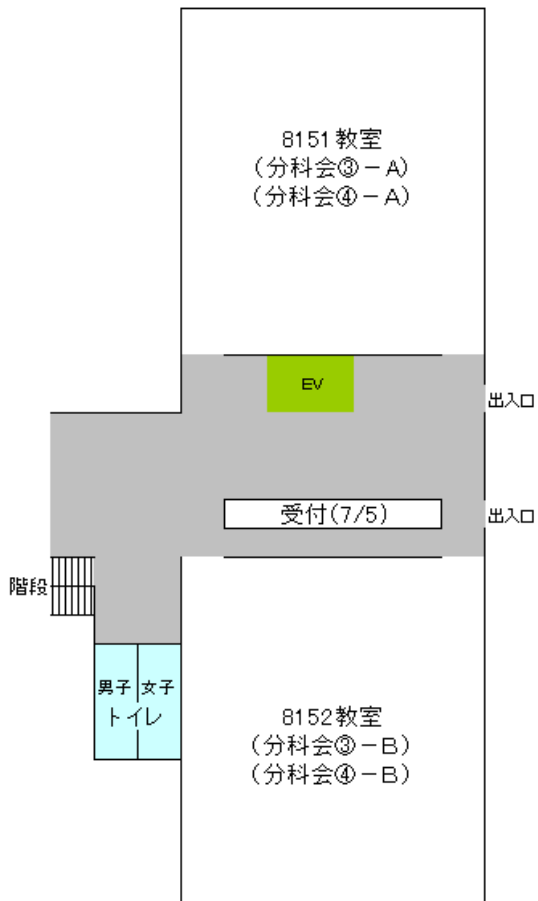


4F

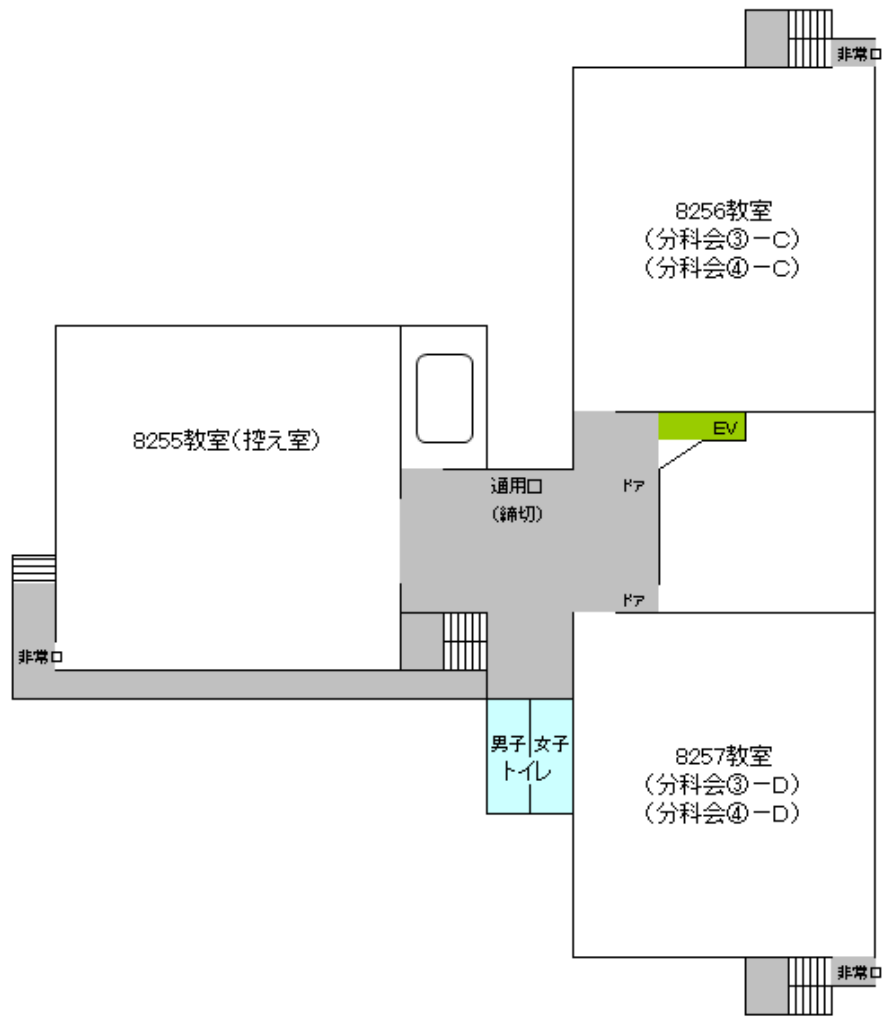


2日目 8号館

1F



2F



～ 2015年度 秋の講演会のご案内 ～

2015年10月24日(土) 午後

シンポジウム「大地の芸術祭と人々」

朱鷺メッセ:新潟コンベンションセンター

(新潟市中央区万代島 6-1、新潟駅よりバス 15分)

懇親会

Befco ばかうけ展望台

(会場隣接の日航ホテル 31F)

※ 上記日程等は変更になる場合がありますことご了承ください。詳細は順次、学会ホームページ等で広報されますので、適宜そちらの情報を参照ください。

文化経済学会<日本>事務局

TEL:03-5981-9824 FAX:03-5981-9852 e-mail:g018jace-mng@ml.gakkai.ne.jp

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-1 第2ユニオンビル 4階 (株)ガリレオ 学会業務情報化センター内

学会ホームページ:<http://www.jace.gr.jp/>